

こっこめ通信

「記録に残すこと」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

12

2010

10月30日の夕方に御蔵島と八丈島の間を通過した台風14号。進路を見ると八丈島に一番被害が出てもおかしくはありませんでした。しかし、接近前の方が雨風が強く、最接近時でも、風はそれほど吹かず、雨も降りませんでした。そのため、海からの潮の被害が大きかったようです。海岸から2キロ以上離れているビジターセンターの窓も潮で真っ白になってしまうほどでした。

さて今回は、「植物標本をつくろう」「初記録と島では珍しい鳥たち」についてのお話です。



植物標本をつくろう

11月21日、首都大学東京 牧野標本館の加藤英寿氏を講師に招き、昼は「体験・植物標本をつくろう」、夜は「講演会・生物多様性と植物標本の意義」を開催しました。「標本をつくろう」では植物標本の必要性や標本の管理のお話など、そして実際に公園内で植物を採集して標本の作成も行いました。またお話の中で、加藤氏が作成したスイカや綿花などの標本に加え、植物分類学者 故牧野富太郎氏が標本作成時に使用した貴重な資料なども見せていただきました。そして、植物標本は標本館で適切に管理すれば半永久に保存され、有効に活用（下黒枠内）することができることも強調されていました。

夜の講演会では、小笠原群島のさらに南に位置する南硫黄島を調査した時の様子も紹介していただきました。

なぜ植物標本が必要？どんなことに役立つの？

①植物の名前を調べる（同定する）

実物の標本があれば大きさを測ったり、細かい部分まで観察することができる。

②植物の特徴や変異を調べる

同じ種類であっても地域や個体差が生じ、標本館に所蔵されていればその場所に出向くことなく調べることができる。また標本の状態によってはDNAを抽出することも可能である。

③植物の季節的な変化を調べる

同じ樹からさまざまな季節の枝を採集し、標本にしておけば花の咲く時期や実の付く時期などを知ることができる。

④地域の自然環境とその変化を調べる

気候変動や開発により特定の種が絶滅することがあった場合、標本により地域の自然環境の変化が読み取れる。

⑤命名のための基準標本

新種を発表する時はタイプ標本を指定して、標本館で保存することが国際的な規約で定められている。

加藤英寿氏作成「体験・植物標本を作ろう」資料より抜粋



東京都には未だに「植物誌」がありません。そこで平成22年度に「東京都植物研究会」が発足し、「東京都植物誌」の編纂に向けて活動しています。今回講師として来ていただいた加藤英寿氏もこのメンバーの一員です。

植物誌編纂のためには植物標本の必要性があります。八丈ビジターセンターでも牧野標本館への植物標本の提供など、少しでも協力ができればと思っています。

「アカコッコ」は日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物に指定されています。
八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

初記録と島では珍しい鳥たち

先月紹介した「コハクチョウ」も島ではとても珍しい鳥ですが、その後も今年はいろいろな珍しい鳥が渡ってきています。ビジターセンターでは過去の記録に加え、独自に八丈島で観察された鳥類のリストを作成しています。(リスト



ハチクマ

2010.11.5 大賀郷園地上空 TAKA



ホシムクドリ

2010.11.16 南原スポーツ公園 TAKA



カラムクドリ

2010.11.20 大賀郷園地 MIEKO

の中には山階鳥類研究所が所蔵している八丈島で採集した標本も含まれています)そして今年はそのリストに入っていない「ハチクマ」「カラムクドリ」「ホシムクドリ」の3種類の鳥が秋の渡りで記録・撮影されたので紹介します。

写真左上のハチクマは撮影した後に画像を見るまではハチクマと気がつきませんでした。大賀郷園地で他の鳥を撮影中に上空を通過したものです。ハチクマは、日本で繁殖した後、北九州から中国へ渡り大陸を南下するルートが知られています。画像を見ると幼鳥であることから、初めての渡りで風に流されてルートを外してしまったのでしょうか？

写真左中のホシムクドリと左下のカラムクドリは共にムクドリの群れ(別のムクドリの群れ)に混じっていました。今年はムクドリの数がとても多く、両種共にムクドリより小さいのすぐに分かりました。ホシムクドリは大陸から南日本へ少数が渡来してくるようですが、さらに海を渡って島まで来たことにビックリしています。カラムクドリは冬に大陸から少し北上して沖縄などに渡ってくる鳥ですが、さらに北の八丈までなぜ来たのかとても不思議です。もしかして撮影されたカラムクドリは大陸から来たのではなく、渡って来たムクドリの群れと渡りを繰り返している“はぐれカラムクドリ”のかもしれませんが。

今年はこの3種の他にも、記録はあるがあまり島に渡ってこない種類も多く見られています。(写真下:イカル、マミジロタヒバリ、カワウ、ミヤマガラス、タゲリなど) また、カモ類では、繁殖羽のオスが渡って来ているのも珍しいです。(写真下:オシドリなど)

上空の風が例年と違ったり、風向きが急に変わったりした影響なののでしょうか？それとも冬がすぐく寒くなるから、いつもよりも南に渡って来ているのでしょうか？ 鳥に聞いてみたいです。

島に降りた鳥たちは、少し休んだ後、足早に次の地へ旅立っています。

夏以降に確認された渡り鳥 (赤字は写真で紹介しています)

カイツブリ、**カワウ**、ウミウ、ササゴイ、アカガシラサギ、チュウサギ、チュウダイサギ、コサギ、アオサギ、コハクチョウ、**オシドリ**、マガモ、カルガモ、コガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ハシビロガモ、キンクロハジロ、カワアイサ、ミサゴ、**ハチクマ**、オオタカ、ノスリ、ハヤブサ、チョウゲンボウ、バン、オオバン、コチドリ、メダイチドリ、ムナグロ、**タゲリ**、キョウジョシギ、トウネン、ヒバリシギ、エリマキシギ、アオアシシギ、クサシギ、タカブシギ、キアシシギ、イソシギ、ソリハシシギ、チュウシャクシギ、タシギ、セイタカシギ、ハジロクロハラアジサシ、クロハラアジサシ、オオコノハズク、コミミズク、アカショウビン？、ヤツガシラ、ヒバリ、ツバメ、ツメナガセキレイ、マミジロツメナガセキレイ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ホオジロハクセキレイ、**マミジロタヒバリ**、ピンズイ、ムネアカタヒバリ、タヒバリ、ジョウビタキ、ノビタキ、アカハラ、シロハラ、ツグミ、オオルリ、サメビタキ、エゾビタキ、コサメビタキ、カシラダカ、アオジ、アトリ、カワラヒワ、マヒワ、ハギマシコ、**イカル**、コムクドリ、**カラムクドリ**、**ホシムクドリ**、ムクドリ、**ミヤマガラス**。計 83 種

(?マークの付いた鳥以外はすべて撮影して記録しています)



イカル

2010.11.4 公園予定地 MIEKO



マミジロタヒバリ

2010.10.26 大賀郷園地 TAKA



カワウ

2010.11.1 いたが池水公園 TAKA



ミヤマガラス

2010.11.1 南原スポーツ公園 TAKA



タゲリ

2010.11.12 公園予定地 TAKA



オシドリ

2010.11.8 植物公園 KOUTA

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今回は 11 月 14 日 (13 時 30 分～ 15 時) に行いました。

八丈植物公園季節調査 (平成 22 年第 11 回) 参加者：沖山、VC 菊池

NO.	和名 (島名)	状態	NO.	和名 (島名)	状態
草本			木本		
1	アオノクマタケラン	熟した実	1	イヌビワ	実
2	アキノノゲシ	花	2	オオバヤシャブシ	実
3	アシタバ	実	3	オオムラサキシキブ	熟した実
4	アシボソ	花	4	ガクアジサイ	実
5	イガガヤツリ	実	5	シマクサギ	熟した実
6	イヌタデ	実	6	シマモクセイ	花、今年は多い
7	イヌホオズキ	花と実	7	トベラ	実
8	ウスベニニガナ	花と実	8	ハチジョウイボタ	実
9	エダウチチヂミザサ	実	9	ハチジョウキブシ	花芽
10	オオバコ	実	10	ヒサカキ	蕾と実
11	オニタビラコ	花と実	11	ヒメユズリハ	熟した実
12	カタバミ	花と実	12	ホルトノキ	実
13	カラムシ	実	13	ヤブツバキ	実が割れる
14	キツネノマゴ	実			
15	コシロノセンダングサ	花と実	シダ植物		
16	コブナグサ	実	1	オオイタチシダ	
17	シチトウスミレ	花	2	オオタニワタリ	
18	ススキ	実	3	オクマワラビ	
19	タチスズメノヒエ	実	4	オニヤブソテツ	
20	チヂミザサ	実	5	スギナ	
21	ツルソバ	花	6	タチクラマゴケ	
22	ツルボ	実	7	タチシノブ	孢子葉は枯れる
23	ツワブキ	花	8	タマシダ	
24	ナキリスゲ	実	9	ナチシケシダ	
25	ネズミノオ	実	10	ノキシノブ	
26	ノコンギク	花	11	ハチジョウカナワラビ	
27	ハチジョウアザミ	花と実	12	ハチジョウベニシダ	
28	ヒナギキョウ	実	13	ハマハナヤスリ	孢子葉が目立つ
29	ヒナタイノコゾチ	実	14	ヒトツバ	
30	ヒメクグ	実	15	ホシダ	
31	メヒシバ	実	16	ホラシノブ	
32	ヤクシソウ	花	17	マツバラソ	孢子囊
今回は 65 種の植物を観察しました。途中から周囲が 煙るほどの豪雨となったので早めに終了しました。			18	ミゾシダ	
			19	ヤマイトチシダ	
			20	ワラビ	葉が少し残る

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、ネズミ駆除のため導入された「ニホンイタチ」にスポットを当ててみたいと思います。



ニホンイタチ

Mustela itatsi

ネコ目イタチ科のほ乳動物。八丈島の在来ほ乳動物ではなく、ネズミ駆除のため 1959 年に導入されました。ネズミは減少したものの、他の生きものへの影響も大きい。(爬虫類や鳥類への影響が特に大きい)

現在は海岸沿いから標高の高い八丈富士や三原山頂部まで、島内全域で見ることができます。

2010 12

八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。
左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
	 この色の日は 特別行事があります		1 01:11 06:35 12:55 19:58	2 02:42 07:50 13:42 20:47	3 03:49 08:53 14:25 21:31	4 ガイドウォーク 04:43 09:46 15:06 22:12
5 ガイドウォーク 05:29 10:31 15:46 22:52	● 6 06:10 11:11 16:25 23:29	大雪 7 06:47 11:47 17:02	8 07:22 00:06 17:39 12:23	9 07:54 00:42 18:16 12:58	10 08:24 01:17 18:54 13:36	11 ガイドウォーク 08:54 01:51 19:35 14:20
12 ガイドウォーク 植物公園 季節調査会 09:26 02:25 20:25 15:14	◐ 13 10:02 03:02 21:35 16:24	14 10:45 03:44 23:27 17:46	15 11:37 04:40 19:01	16 01:39 06:03 12:34 19:57	17 03:05 07:37 13:27 20:42	18 ガイドウォーク 03:58 08:50 14:14 21:22
19 ガイドウォーク 冬の特別行事 「リースを作ろう」 04:40 09:42 14:56 22:01	20 05:17 10:25 15:37 22:39	○ 21 05:54 11:03 16:17 23:18	冬至 22 06:30 11:40 16:58 23:58	23 ガイドウォーク 07:06 12:18 17:42	24 07:42 00:39 18:27 12:59	25 ガイドウォーク 八丈学講座 「八丈島の岩石」 08:17 01:20 19:17 13:44
26 ガイドウォーク 冬の特別行事 「正月飾りを作ろう」 08:52 02:01 20:13 14:36	27 09:27 02:43 21:21 15:37	◑ 28 10:03 03:27 22:57 16:51	29 ガイドウォーク 10:45 04:16 18:13	30 ガイドウォーク 「体験八丈太鼓」 01:08 05:21 11:37 19:30	31 ガイドウォーク 03:03 07:01 12:44 20:32	

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！
12/12（13:30～ 約1時間半） 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

特別行事

「リースを作ろう」

毎年恒例、クリスマスに合わせていろいろなリースを作りましょう！
12/19（13:30～ 約1時間半） 小学生以上（低学年は保護者同伴）
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：10名

八丈学講座

「八丈島の岩石」

毎月行っている八丈学講座。今月は島を形成する岩石についてのお話です。
12/25（13:30～ 約1時間半） 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

特別行事

「正月飾りを作ろう」

お正月に合わせて、自然素材を使ったお飾りを作りましょう！
12/26（13:30～ 約1時間半） 小学生以上（低学年は保護者同伴）
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：10名

年末年始特別行事

「体験八丈太鼓」

ビジターセンターの年末年始といえばこれ！ 太鼓たたけばストレスも吹き飛びますよ！
12/29～1/3 ビジターセンターの開館中（9:00～16:45）
いつでも・だれでも・無料
て〜こ、はたきにおじゃれ！

ビデオプログラム

10:00～ 八丈・海・生きものたち

11:00～ おじゃりやれ 八丈島

14:00～ おじゃりやれ 八丈島

15:00～ おじゃりやれ 八丈島

16:00～ 八丈・海・生きものたち

上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2010.12.1 第115号

開館時間 9:00～16:45 年中無休（入場無料）

〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

編集後記

環境が変わることで変化する植物相、環境が変わることで飛来しなくなる鳥類たち。

記憶ではなく、しっかりと記録に残していくことは、私たち、そして八丈ビジターセンターの使命なのかもしれません。（高）